

2024年2月1日

各位

ENEOSホールディングス株式会社
大分県国東市

家庭ごみ廃プラスチックのケミカルリサイクルに向けた実証実験の開始について

ENEOSホールディングス株式会社(代表取締役:宮田 知秀、以下、「ENEOS」)と大分県国東市(市長:松井 督治、以下、「国東市」)は、カーボンニュートラルに向けた取り組みの一環として、家庭ごみ廃プラスチックを使用したケミカルリサイクル^{※1}に向けた実証実験(以下、「本実証」)を国東市にて実施することを決定しましたので、お知らせいたします。



締結式の様子

(左) 国東市長 松井 督治

(右) ENEOSホールディングス株式会社 未来事業推進部長 長沼 亨

日本では年間約824万トン^{※2}のプラスチックが廃棄されており、その半数以上は、サーマルリサイクル^{※3}や埋立等の方法で最終処理が行われ、多量のCO₂発生源となる課題を抱えています。そのため、課題解決に向け新たな処理方法の確立に取り組む必要があります。

国東市は、国内自治体では全国初となる「カーボンネガティブ宣言」^{※4}を表明し、多種多様な主体との連携による「カーボンニュートラル」の早期実現を目指しています。

一方、ENEOSは、「ENEOSグループ長期ビジョン」^{※5}に掲げる『エネルギー・素材の安定供給』と『カーボンニュートラル社会の実現』との両立に向けて挑戦しています。さらに、新たな価値の創出に挑戦するための社内ベンチャープログラム「Challenge X」^{※6}を実施しています。

本実証は、2022年度の「Challenge X」最優秀賞に選出された事業アイデアである「廃プラスチック等の家庭ごみを資源に変えたい」の事業化検討に、「温室効果ガス排出実質マイナスを目指す」国東市が共感・賛同し、両者が協同してケミカルリサイクルに取り組むことが課題解決の足掛かりになると判断し、実現に至りました。

本実証において、国東市では、指定地区の住民の理解・協力のもと、ケミカルリサイクルに適した種類の家庭ごみ廃プラスチックを収集し、ENEOSは、その収集した廃プラスチックを油に戻し、石油製品やプラスチック製品への循環再利用に適した油の性状を有するかを評価します。

なお、家庭ごみ廃プラスチックを含む一般廃棄物のケミカルリサイクルに向けた実証実験としては、全国初の取り組みとなります。

ENEOSと国東市は、「カーボンニュートラル」の早期実現に向けて、全国に先駆けて実施する本実証の結果をもとに、更なる検証を重ねてまいります。

- ※1 ケミカルリサイクル：化学的な処理をして分解し、合成ガスや分解油などの化学原料に戻すことで、他の化学物質に転換し再利用するリサイクル手法
- ※2 出典：プラスチックリサイクルの基礎知識 2023（（一社）プラスチック循環利用協会）
- ※3 サーマルリサイクル：廃棄物を焼却する際に発生する熱を回収し、発電や温水施設に利用するリサイクル手法
- ※4 「カーボンネガティブ宣言」
 - ・二酸化炭素排出量実質ゼロとなる「カーボンニュートラル」をなるべく早い段階で達成し、2050年までには二酸化炭素の排出量実質マイナスを目指す
 - [国東市カーボンネガティブ宣言について - 大分県国東市ホームページ | 1300年前から続く、
仏の里くにさき \(city.kunisaki.oita.jp\)](#)
- ※5 「ENEOSグループ長期ビジョン」
 - [長期ビジョン・中期経営計画 | 経営方針 | ENEOSホールディングス \(eneos.co.jp\)](#)
- ※6 社内ベンチャープログラム「Challenge X」
 - ・ENEOS従業員の誰もが自由なテーマで応募でき、高い評価を得られれば、起案者がそのアイデアに100%時間を割き、事業を立ち上げていくプログラム
 - ・[ENEOS社内ベンチャープログラム「Challenge X」最終選考会を開催](#)
 - ・[新規事業創出支援プロジェクト「No Limit!」が始まりました!](#)

〈実証概要〉

実証期間	2024年2月～3月（毎週水曜日午後：計8回）
実証参加地区	国東市の指定地区
収集予定プラ	国東市とENEOSが指定したプラスチック（主にPP、PE、PS）
目標収集量	1.6トン（2ヵ月間の合計値）
確認項目	・プラスチック収集量、廃プラスチック分解油の性状 ・廃プラスチック処理スキームの経済合理性



〈実証内容の住民説明会の様子〉



家庭ごみを持ち寄り確認

〈本件に関するお問い合わせ先〉

<p>国東市役所 環境衛生課 TEL：0978-72-9001 大分県国東市ホームページ 1300年前から続く、仏の里くにさき トップページ city.kunisaki.oita.jp</p>
<p>ENEOSホールディングス株式会社 広報部広報グループ TEL：03-6257-7150 E-Mail: pr@eneos.com</p>